

認定特定非営利活動法人

2019年 9月号

〒520-0815

大津市膳所1丁目10-4

TEL/FAX : 077-521-3603

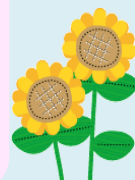
メール:yomawarinokai@gmail.com

http://otsu-yomawarinokai.org/

大津夜まわりの会ニュース

2019

夏休み子どもひまわりの家



輝く瞳、弾ける笑顔、みんな友だち！

計8回、延べ203人が参加

大津夜まわりの会が夏休みの子どもたちに「居場所」や「思い出づくり」「友だちづくり」をプレゼントする恒例の「夏休み子どもひまわりの家」。この夏も7月30日の初回から8月27日の最終回まで計8回、実施しました。今年は当初の参加希望者が昨年の4割増にも達し、予定の受け入れ人数を大幅にオーバーしました。会場の広さなどから希望通り受け入れるのは困難なため、やむなく6回以下の参加に留めていただき、希望者全員に来ていただく事が出来ませんでした。その結果、参加児童数は延べ203人、1回当たり25・3人と、過去最多となりました。

一方、児童たちの「お兄さん」「お姉さん」「あこがれの先輩」として先生役を担ってくれたボランティアは高校生8人、専門学校生6人、大学・短大生23人、社会人1人の計38人と、こちらも過去最多でした。

午前10時から午後4時までの日課は、例年通り午前が自習、お昼ごはんをはさみ、午後は特別活動で防災教室やヨシ工作、お



もしろアート体験、絵本の読み聞かせや楽しいマジック教室、世界を知る教室、人形劇観賞など、それぞれ専門家に来ていただいてさまざまなことに挑戦したり新たな体験をしたり。滋賀県警察本部の見学や大津市科学館でのプラネタリウム観賞もあり、児童たちは興味津津。初めてのチャレンジに戸惑いながらも真剣に挑む子、友だちと力を合わせて取り組む子、お姉さん先生に助けを求める子等々、みんなの目が輝き、笑顔や歓声が広がりました。毎回学年も学校も違う子との別行動や先生たちとおやつを囲んでのお話タイムも楽しく、刺激的で新鮮だったようです。

終了後の保護者アンケートには「仕事で昼間いないため子どもだけで過ごさせるのは心配でしたが、ひまわりの家があり、助かりました」「私が帰宅するとその日習ったことを楽しそうに話してくれました」「お昼ごはんを作る必要がなく、ありがたかった」など、多くの感謝の言葉をいただきました。

「大津・SDGsくるくるチャリティプロジェクト 2019」の寄付対象事業に選ばれました

「夏休み子どもひまわりの家」は、共働きや一人親家庭などのせいで、夏休みの居場所に恵まれない子らへの支援活動としての役割とこれまでの活動が評価され、大津市市民活動センター主催の「大津・SDGsくるくるチャリティプロジェクト2019」の寄付事業に選定されました。このプロジェクトは同センターが提唱し、市民、企業、行政、大学の協働で「SDGs（持続可能な開発目標）」の理解を深めながら、よりグローバルな視点から住みやすいまち・大津を目指そうという取り組みです。賛同する方々から寄付金を募り、その贈り先として公開審査の結果、当会（2020夏休み子どもひまわりの家「事業」と日本国際ボランティアセンターの2団体）が選ばれました。多くの方々のご寄付をお願いします。

2019 夏休み子どもひまわりの家

アンケートより

ご支援、ご協力
ありがとうございました

「2019 夏休み子どもひまわりの家」の開催実施にあたっては、冠婚葬祭文化振興財団の「第20回社会貢献基金助成事業」として助成金をいただきました。自主財源部分は滋賀県共同募金会の「つかいみちを選べる募金」でいただいた浄財を充当しました。寄付者の皆様には、あらためて心からお礼を申し上げます。

また、特別活動の時間を担当し児童に貴重な体験をさせてくださった講師の皆様はじめ、何かとご協力いただいた方々、ボランティア先生を務めてくれた学生諸君ら、そしてこの事業を後援していただいた大津市・大津市教委、大津市社協の各位に、深く感謝いたします。

保護者

去年から正社員になり、主人も出張のため参加させました。楽しい企画もあり、宿題も丁寧に見ていただいたので、子どもたちにとっても良かったです。・家の周りに遊ぶ友達がいないのと仕事があったので初めて参加させていただきました。ボランティアの方々も良くして下さい、子供もとても喜んでいました。・日記ありがとうございました。いつもつい口出ししてしまうので、なかなか子どもの素の文章、姿がみられません。案外ちゃんと書いていて間違いも子どもらしく成長を感じます。・日中子どもたちだけで留守番させているのでとてもありがたかった。・工作したものを夏休みの宿題として学校に提出できました。・お昼の心配をせずに仕事に行けるだけでなく、いろいろな企画でいろんな体験をさせてもらい、沢山の思い出ができたと思います。・ぜひ今後も続けて頂き、可能なら日数を増やしてもらえるとありがたいです。・初めての参加でしたが、子どもたちは“ひまわりさん”に行ける日をとても楽しみにしていました。

ボランティア

あまり子どもと接する機会がないため貴重な経験となりました。今後の私自身の活動に生かしていけそうです。・子どもたちから元気をもらった。将来、先生になりたい私にとって子どもたちと関わって良い経験になった。・大学で社会福祉を学んでいるもののボランティア等に参加したことはなく、座学だけでは得ることのできないことを学べたと感じました。・小学生にとっては高校生や大学生といったいわゆる「お兄さん」「お姉さん」と接することは貴重で、社交性の向上にもつながる。・自習では先生に勉強を見てもらったりしながらコミュニケーションが取れていた。・勉強だけでなく、特別活動があることで一日中だれることなくメリハリがついて良かった。・学年が違う子と班を一緒にすることで高学年が低学年の面倒をみていた。・自習すること自体は大切だと思いますが、休憩後から集中力が切れる子が多くなるのが難しい部分と感じました。子どもに注意するというのは難ししと感じました。・まじめにやらない子への対応が課題。・部屋がもう少し大きければいいと思った。



社会生活基盤づくり講座

今年もやってま〜す!

たのしく



ちぎり絵教室

大津夜まわりの会は、当会利用者（被支援者）の自立した社会生活に向け、社会生活基盤づくり講座を毎年開催しており、本年度も「しがぎん福祉基金」の助成を得て、5～7月の第1期、9～11月の第2期、1～3月の第3期に分けて実施しています。

調理実習や健康教室、ウォーキングをはじめ、園芸教室や文化歴史探訪、ちぎり絵教室や笑いヨガ教室、マジック教室、人権学習や社会学習など、盛りだくさんのプログラムで、今後は外部の講演や講習、勉強会などにも積極的に出かけていく予定です。

楽しく参加しながら、社会生活への意欲や知識、コミュニケーション力などを培い、充実した生き方の探求を応援します。

歳末恒例「2019 越冬支援のつどい」
今年は 12月22日(日)に行います

歳末の恒例行事「2019 越冬支援のつどい」の開催日時が決まりました。12月22日(日)午前11時から午後1時まで。場所は例年の膳所市民センターが日曜日で使用団体が多いため、混乱を避け、膳所診療所さんのご厚意により同診療所一帯(京阪錦駅近く)で開催する予定です。

「つどい」では、生活困窮状態の方々に冬物衣料や食料品、日用品等を無料で提供します。多くの皆様には温かい心のこもった支援品をお寄せくださいますよう、お願いいたします。

支援品についてのお問い合わせは 077-521-3603 大津夜まわりの会へお電話ください。